

2015年「国際学生・ヤングパグウォッシュ」

長崎からの声明

—未来に向けて共に行動を—

(仮訳)

2005年、国際学生・ヤングパグウォッシュ(ISYP)は、広島において「ミッション・ポッシブル：次世代との係り合い」と題する声明を発表しました。10年後となる今年、また、ラッセル・アインシュタイン宣言の発表から60年の節目に、ISYPは不確実性に満ちた現代において平和的な共存が不可欠であることを改めて訴えます。

過去10年間、世界では紛争や潜在的な脅威が広がってきました。世界各地で、地域の安定を実現することは容易ではありません。情勢が不安定な地域では軍事的な紛争が今も続いています。核拡散は現在においても現実な脅威であり、核軍縮の達成は遠い目標のように感じられます。テロは世界中で現在も続いており、その手段もますます高度化し、残虐なものになってきました。科学技術の進歩によって戦争を行うことはより容易になりました。また、気候変動が加速し続けていることによって起こる安全保障上の問題も大きな脅威となっています。

これらの深刻な課題に対処するため、我々は引き続き核兵器・大量破壊兵器・テロリズムと戦争の脅威のない世界を作っていくことに取り組んでいきます。平和を希求するために、世界中の若者が連携していくことがこれまで以上に重要です。ISYPは、世界の人々の繋がりがますます増し、より複雑化した今日の世界が直面する課題に対処する次世代のリーダーを育てる機会を提供しています。ISYPの会議は、国や思想の違いを超えて若い世代が集い、長年にわたる争いを解決するための新しいアイデアを活発に議論し、広めることに努めていきます。またISYPは、若い世代が共に現代の国際安全保障上の困難な課題を解決するために積極的な役割を担えるよう支援していきます。そのために、パグウォッシュ会議及びより広く軍縮に取り組む人たちの協力を求めます。

長崎では被爆者の方々にお会いし、原爆による想像を絶する困難の中でも将来に向けた希望を持ち続けたことと、被爆した経験を世界に伝える精神に強い感銘を受けました。また、最後の原爆投下地、ここ長崎において、被爆者の方々のメッセージを熱心に伝え続ける日本の若い人たちとも交流しました。その平和を希求する前向きな心に刺激を受け、パグウォッシュ会議の中で若い世代がこれまで以上に存在感を示して、ラッセル・アインシュタイン宣言の精神に基づいた未来を築くために一層努力することの重要性を再確認しました。そして、ラッセル・アインシュタイン宣言の言葉を常に心に留めることを誓います。

「あなたがたの人間性を心にとどめ、そしてその他のことを忘れよ」